

5. 親子のコミュニケーション③<子どもを知る>

③ 抱っこで感じる子どもの成長

《ねらい》

子育ては親子が一緒に成長するものであるため、なかなか子どもの成長を客観的に感じられない。そこで子どもの身体の成長を実感することで、子育てを振り返ってもらおう。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート、土嚢袋に砂を入れていくつかの重さを準備
アイスブレイク用に3歳の標準体重（約14kg）の砂袋と1kgの砂袋を準備
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入	(10)	1. 学習のねらい		
		<p>今日は、お子さんが生まれた時の体重と同程度の砂袋を用意しました。現在のお子さんの体重や重さを思い浮かべながら、その成長について振り返ってみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
展開	(30)	2. アイスブレイク ・名札づくり&重さ当て	3. グループに1kgの重りと砂袋を準備しています。その砂袋の重さが何gであるか、グループで協力して当ててみてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・1kgの重りを準備する。 ・3歳の標準体重の砂袋をグループ分準備する。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6 参照	
		4. ワークシートに記入する。 ・わが子の誕生時の体重とその時の気持ち（ワーク1）	4. わが子の誕生時の体重と、生まれた赤ちゃんを抱っこした時の気持ちを思いだして、 ワーク1 に書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・どれくらい砂袋が準備できるかでかかる時間がかかる。手間はかかる。
まとめ	(10)	5. みんなで体験して、感想をシートに記入する。（ワーク2）	5. わが子の誕生時の体重に近い砂袋をもってみましょう。今のわが子の体重と比べて子どもの成長について感じることを ワーク2 にまとめてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な時間を確保しようとするれば、砂袋をグループ分準備する必要が出てくる。
		6. グループで紹介しあう。	6. ワークシートに記入した内容を、皆さんで紹介しあいましょう。	
まとめ	(10)	7. ふりかえり	7. 今日を振り返って、気づいたことや感じたことをワークにまとめてみましょう。	
		8. まとめ	<p>いかかだったでしょうか。体重の変化によってわが子の成長を確認していただきました。しかし、伸び盛りの子どもは、身体の成長だけではなく、それにともなって心の成長もしています。いろいろな面から子どもの成長を実感していただき、わが子と「私」の両方を褒めてあげてください。</p>	

抱っこで感じる子どもの成長

日々の生活に追われていると、一緒に過ごしている子どもの成長をしみじみと感じる心の余裕がなかなかもてませんね。今日は、お子さんの身体の成長を実感するために、お子さんが生まれた時の体重と同程度の砂袋を用意しました。それを抱いていただき、今のお子さんを抱っこしている時との違いをしっかりと感じて下さい。

これまでの子育てを振り返って、今になって思うこと、これからどのように子どもと接していきたいか、など、過去・現在・未来をつないでみて下さい。

ワーク1

わが子の誕生時の体重を記入して下さい。
生まれたわが子を最初に抱っこした時の気持ちを思い出しましょう。

誕生時の体重は？（ ）g

最初に抱っこした時にどう感じましたか？



ワーク2

誕生時の体重を体験してみて感じたことを書いて下さい。
今の子どもの顔を思い浮かべ、子どもの成長について感じることを自由に書いてみましょう。



今日を振り返って